

令和6年3月25日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立岩成台西小学校

校長 佐々木 利江子

事業テーマ	深い学びの実現と子どもたちの心の居場所となる学校づくり ー「ひと」とのつながりやかかわりを通して、自己肯定感を高める教育活動ー	
取組の目的	新学習指導要領に示されている「主体的、対話的で深い学び」の実現のためには、自分も他者も認める姿勢は必要不可欠であり、自尊感情を高めることができる取組を進めていくことが大切である。これまで継続してきた地域や学校のボランティア活動への主体的な参加や、地域の講師を招いたもの作りの活動に、他者と積極的にコミュニケーションをとる活動を加えることで、様々な教育活動に対話が生まれ、より深い学びを得られるようになることを考える。活発なニュータウンの地域活動と中規模校である利点を生かし、『チーム岩西』として、児童、教師、保護者、地域が交流しながら、人とのつながりやかかわりをともに「生きる力」の基となる教育活動を推進していきたい。	
区 分 (○印を付ける)	新規事業・ <u>継続事業</u> （総事業年数3年間3年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容	児童の主体性をより一層、導き出すことが課題となっていた。SSTを通して学校生活や授業で生かすことができるように努めてきた。今年度もSSTの取組を継続するとともに、普段の授業の中でペア活動やグループ活動を実践し、研究授業・公開授業において話し合い活動を積極的に取り入れることで、課題の解決に当たった。	
事業名	事業内容	実施時期
【人とのかかわりを重視した授業・活動】 【感性を磨く交流の場の設定】	○ スマイルタイム ○ Q-Uテスト ○ あすチャレスクール (障がい者スポーツの体験) ○ 書の共同作品作り	通年 6月・11月 10月 12月・2月
取組の成果 SSTに取り組むことで、他者と積極的にコミュニケーションをとる機会が増え、人の話を聞き、自分の思いを伝える力が身に付いてきた。授業に話し合い活動を取り入れることで、対話的で深い学びへとつながってきた。		
課題 SSTの実践を年々積み重ねることで、子どもたちの自己肯定感の高まりを感じられるようになってきた。SSTを授業に生かすことを課題として、子どもたちとともに教師も力量を高められるように、今後も研究に取り組んでいく。そして学校生活全般を通じて「深い学びの実現と子どもたちの心の居場所となる学校づくり」をめざして、より一層の研鑽に学校全体として取り組んでいきたい。		